

手権（ドイツ）の出場権を獲得する。

オーストラリア戦に出場し、競り合う伊禮雅太＝クウェート
©JHA/Yukihito Taguchi



年
目
へ

よつ原雅人（左）と白井を抱き合った大黒柱で親交が深かった今井達也手が米大リーグ、アストロズへ移籍した。5年目の今季は投手陣の新リーガーとして期待される。「レベルが、『隠れエース』ぐらいにならば」と控えめに語った。

大会60回「歴史に名」

タイムス杯ソフトテニス 県連盟3月開催PR

県ソフトテニス連盟の外間勉会長は16日、沖縄タイムス社を訪れ、第60回の節目を迎えるタイムス杯争奪全沖縄選手権（3月8日、県総合運動公園庭球場）の開催をアピールした。「最も権威ある大会の一つ。100年続く大会にしたい」と語った。

同大会は1966年度に始まり、1度も欠かさず毎年行われてきた。小学生からシニアまでが腕を競い、近年は400人程度の参加があるといふ。

自身も85年度の大会で現理事長の宮城正彦さんと組んで準優勝した外間会長は「歴史があり、名が残る大会」と振り返



第60回のタイムス杯争奪全沖縄選手権をアピールする県ソフトテニス連盟の外間勉会長（中央）と宮城正彦理事長（右）、眞境名富雄事務局長=16日、沖縄タイムス社

る。県内の競技レベルは向上しつつあるとし「タイムス杯で力が培われることも一つの要因」と話した。

申し込み方法は近く、同連盟のホームページなどで案内する。（大城大輔）

モレチマイナー契約



■ 米大リーグ、フィリーズとマイナー契約を結び、ポーズをとるモレチのモレチ・アレシャンドレ

【沖縄タイムスに、沖縄定借機構外間副理事長が

（沖縄県ソフトテニス連盟会長）掲載されました。】

一般社団法人 全国定期借地借家協会

定期借地・定期借家制度の健全な普及と正しい理解のために

当協会は、定期借地・定期借家制度の普及と正しい理解を通じて、

安心して土地と住宅を活用できる社会の実現を目指しています。

各地域の専門家、事業者が連携し、制度の研究・啓発・支援を行う全国組織です。



【協会について】

設立：2024年1月26日（※法人前の全国連携組織の定借機構は約30年活動）

目的：定期借地・定期借家制度の普及と正しい理解の促進

役割：制度研究・普及・政策提言・会員交流、支援など

会員構成：不動産事業者、設計事務所、専門家など

顧問：弁護士、税理士、司法書士、不動産鑑定士など不動産の専門家多数

【これまでの取り組み】

- ・全国各地でのセミナー・シンポジウム開催
- ・相談受付、意見交換など
- ・全国の定借関連機構との意見交換会議



～今後の方向性～

- ・年2回のセミナーと地域ごとの講習会
- ・実務者教育・次世代人材育成
- ・会員事例視察ツアーによる実例紹介
- ・個別相談窓口の拡充

【入会について】

・年会費：30,000円（詳細はお問い合わせください）

・セミナー、講演会の優遇料金/理事への一般相談/各地域との連携など

・jimukyoku@teishaku-pro.orgまでお問い合わせください。

一般社団法人 全国定期借地借家協会

事務局：ライフリンクデザイン研究所宛

東京都新宿区西新宿7-1-12 クロスオフィス新宿2階 ライフリンクデザイン研究所内
TEL：03-6373-4236 HP：<https://teishaku-pro.org/> mail：jimukyoku@teishaku-pro.org